

## 日本の安全保障と気候変動問題・エネルギーを考える

－令和5年度第1回研修会を開催－

令和5年5月22日（月）、KAKKINは友愛会館においてエネルギーと経済・環境を考える会と共催で、研修会を開催しました。

前半の講演Ⅰは、元海上自衛隊横須賀地方総監（海将）・堂下哲郎氏による「安保3文書の改定と日本の安全保障」。台湾有事を中心に日本を取り巻く安全保障環境の現実と昨年12月に改訂された安保3文書の意義と課題について理解を深めました。



堂下講師



杉山講師

また後半の講演Ⅱは、キャノングローバル戦略研究所 研究主幹・杉山大志氏による「地球温暖化のファクトフルネスと新冷戦下のエネルギー政策」。地球の温暖化をデータに基づいて検証し、脱炭素政策の危うさについて考えました。



\* 詳細は後日発行する KAKKIN ニュース第 91 号に掲載します。